

京都芸術劇場ニュースレター

5月24日(金)

企画・監修 渡邊守章
世阿弥生誕六五〇周年記念
観世流宗家観世清和師による『翁』

2013年は、能の大成者世阿弥の生誕 650年記念の年です。12歳のときに、時の将軍足利義満に認められ、父親阿弥の先見の明ある教育方針のもと、「室町文芸復興」とも呼ばれる同時代の先端的な文芸の素養を身につけることが出来た世阿弥。優れた能役者であるばかりではなく、同時代の先進的な能の一座の棟梁であり、能の本の作者としては「複式夢幻能」に代表される、「幽玄な」、つまり優美艶麗な「詩劇」を完成させ、詩と音楽（謡と器楽）と舞とが一体となる世界に類例を見ない高度な舞台芸術を完成に導いた世阿弥。彼は同時に優れた理論家でもあって、その「伝書」の研究は、日本の人文諸科学のなかでも、最も優れた成果を挙げてきたものと言えましょう。

とはいえ、それで、能が日本人の中で広く共有されているかと言えば、残念ながら現状は違います。京都芸術劇場春秋座が、単なる普及公演ではなく、優れた演者による優れた作品の上演に力を入れてきた理由もそこにあります。

今回は、世阿弥生誕 650年記念として、能の「始原的な」姿を留めている『翁』を、観世流宗家の観世清和師しよくとうせいに舞って頂き、日本の芸能の始りにあった「祝禱性」を春秋座の舞台に漲らせて頂きます。「千歳」は観世鏡之丞師長男の淳夫君、「三番三」は茂山七五三師です。

因みに清和師は、春秋座の「歌舞伎舞台」とその「花道」を活かした『翁』に情熱を燃やしておられ、他所では見られない『翁』が生まれることでしょう。

まさに、本研究センターが研究課題の重要な核としている「越境する伝統」にも相応しい舞台となると、今から期待が高まります。

狂言も、目出度い『末広がり』を、茂山千五郎師率いる茂山家の方々にお願ひし、最後は観世鏡之丞師による『高砂』（祝言之式）が、神聖の気を劇場に溢れさせてくださるはずですよ。

舞台芸術研究センター所長・演出家 渡邊守章



撮影：前島吉裕

チケットお問合せ先

京都芸術劇場チケットセンター
tel. 075-791-8240

営業：平日10:00-17:00・公演開催日

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
京都芸術劇場 春秋座・studio 21

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116
tel. 075-791-9437 fax. 075-791-9438

URL: <http://www.k-pac.org/>
E-mail: k-pac@kuad.kyoto-art.ac.jp

京都芸術劇場ブログ

<http://www.kyoto-art.ac.jp/blog-theater/>

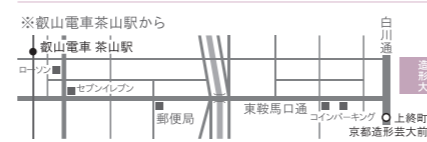


劇場モバイルサイト

オンラインチケットストア

<http://www.k-pac.org/ticket.html> (パソコンから)
<http://www.k-pac.org/theatre/m/m> (携帯から)

※オンラインでの取り扱いがない公演・券種もございます。



●JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
京都市バス5番「岩倉」行き乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

●京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から
京都市バス204循環に乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

●京阪電車出町柳駅から
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの
ご来場はお断りします。

発行/編集 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
デザイン 吉羽 一之(シンプルホープ)

京都芸術劇場ニュースレター
vol.25 発行日—2013年4月1日

募集中!

【京都芸術劇場友の会 会員】

《京都芸術劇場友の会》では、劇場の活動をより知っていただくため、会員の皆様に公演の詳しい情報をいち早くお知らせし、また、チケット割引や先行販売を通じて、少しでも快く劇場をご利用いただけるようサービスを行っております。ご用意できる特典はさまざまですが、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

《会員特典》

- ① 情報誌「京都芸術劇場ニュースレター」(年3回)や公演チラシを定期的にお届け!
 - ② 京都芸術劇場チケットセンター(窓口・電話・オンラインストア)で会員番号によるチケット予約、1公演お一人様4枚(公演により異なる)まで割引料金にて購入可能!(公演により、予約・割引のない場合、窓口・電話のみの対応の場合もございます。)
 - ③ 当主催公演など、会員限定の先行販売あり!
 - ④ 春秋座、studio 21で行われる公開講座、公開シンポジウムなどもご案内!
- 有効期限は入金日より1年間です。更新毎に年会費(2000円)をお納めください。

《入会方法》

Case 1. 劇場チケットセンター窓口にてお申し込み(窓口受付/月～金 10～17時)

Case 2. 郵便振替にてお申し込み

劇場郵便口座へ年会費2000円をお振込ください。

郵便局で青色の振込用紙にご記入ください。(振込み手数料別途100円程かかります。)

[口座番号] 00970-7-176517 [加入者名] 京都造形芸術大学 京都芸術劇場
[通信欄] ①友の会 新規入会 ②お名前(フリガナ) ③生年月日 ④FAX(あれば)
[ご依頼人] お客様の住所・氏名・電話番号(わかりやすい字ではっきりとご記入ください。)

【オンライン会員】

登録無料! 24時間ご予約可能! 選べる受取・お支払い方法!
公演情報をメールでお知らせ!

詳しくは、オンラインチケットストア(右記)へアクセス下さい。
(友の会にご入会いただくと、自動的にオンラインに登録いたします。)

新刊発売! 舞台芸術17号 Spring 2013

定価1500円(税別) 企画編集: 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター 発行: 角川学芸出版



特集—

伝統×現代
—アーティストの「思考」—

■巻頭エッセイ

「最後の悲劇

—シェイクスピア『コリオレイナス』

三浦基

■「伝統芸術と現代」

観世鏡之丞 × 渡邊守章

■シンポジウム採録

越境する伝統—韓国舞踊の場所から

「金梅子(キム・メジャ)の仕事」より

—渡邊守章、竹田真理、八角聡仁、金梅子、

チェ・ヒワン、イ・ジヒョン、山田せつ子、

森山直人(司会)

■ダイアログ

『明るい部屋』をめぐって

—高谷史郎 × 浅田彰

■ブラジルを通して見た

「ダンス」と「社会」

—リア・ロドリゲス、マルセロ・エヴェリン、他

■上演台本

マラルメ・プロジェクトⅢ

『イジチュール』の夜へ

—「エロディアード」/「半獣神」の舞台から— 他

●お問合せ: 舞台芸術研究センター Tel.075-791-9437

●ご購入は全国書店または京都芸術劇場HPにて

企画・監修 渡邊守章 世阿弥生誕六五〇周年記念

観世流宗家観世清和師による『翁』

《春秋座能・狂言シリーズ》では、能狂言の代表的な演目を、歌舞伎劇場で上演する、しかも「花道」も活かし、横長の舞台を照明で立体的に見せるという演出上の工夫も行いつつ、通常の能楽堂では味わえない演劇的であると同時に詩的でもある舞台芸術を成立させてきました。それは、観世鏡之丞師をシテに、鏡仙会と片山家の方々、狂言では野村万作・萬斎両師を中心とする野村狂言の会と、お膝元の茂山家を担う千五郎・七五三両師、更に若手のホープ逸平君などに加えて、囃子方としては笛の藤田六郎兵衛、小鼓の大倉源次郎、大鼓の亀井広忠の各師といった、今、最も魅力的な方々。そして創作能『薔薇の名――長谷寺の牡丹』から世阿弥作の『融』まで、歌舞伎舞台を能の宇宙に変容させる照明を作ってくださってきた服部基氏などのお力があつたことは言うまでもありません。

『翁』を歌舞伎劇場の春秋座で舞う。しかも観世流の26世宗家観世清和師が、世阿弥生誕650年祭を記念したこの実験は、過去5年以上にわたる、京都芸術劇場（春秋座）における能・狂言の公演とその成果を見てこられた方たちならば、せめてそのくらいの冒険はしてもらいたいと思われることでしょう。

幸いにも、観世宗家清和師御自身が、歌舞伎劇場における『翁』に情熱を燃やしておられ、その工夫を凝らしておられます。他所では絶対出来ないような「伝統を越境する」実験を続けてきた春秋座ならではのこの企画は、泉下の世阿弥も、また奇しくも生誕 680 年に当た

る父親阿弥も、これこそ自分たちの追及してきた「花」の美学にぴったりの企画だと、喜んでくれるに違いありません。いかにも、世阿弥も説いたように、「花と、面白きと、めづらしきと、これ三つは同じ心」（「花伝第七 別紙口伝」）だったのですから。

『翁』は、「能にして能にあらず」と、神聖視されるだけの演目だと考えている人は多いと思いますが、実は、「猿楽の能」の「元芸」として、言わば能の始原の秘密を託されている作品であり、神聖視と同時に時代と共に洗練されてもきて、舞台芸術としての魅力も十分に孕んだ作品です。吉野の談山神社には、「摩陀羅神の面」と考えられている翁面がありますが、「後戸の神」として、過去 40 年ほどの間に研究が進んできた「芸能神」の面影を、遥かに偲ぶためにも、通常の能舞台ではなく歌舞伎舞台という「異界」に、翁を招き入れて頂きたいものだと考えています。

舞台芸術研究センター所長 渡邊守章



観世清和

『翁』（※途中入場不可）

- 翁 観世清和
- 千歳 観世淳夫
- 三番三 茂山七五三
- 面箱 茂山茂
- 笛 藤田六郎兵衛
- 小鼓頭取 大倉源次郎
- 脇鼓 清水皓祐 吉阪一郎
- 大鼓 亀井広忠
- 後見 片山九郎右衛門
大江信行
- 後見 茂山千三郎 茂山正邦
- 地謡 観世鏡之丞 井上裕久
浦田保浩 味方玄
浦田保親 林宗一郎
大江泰正 大江広祐



撮影：川西善樹

狂言『末広がり』

- シテ 果報者 茂山千五郎
- アド 太郎冠者 茂山正邦
- アド すっぱ 茂山千三郎
- 後見 茂山茂

能『高砂 祝言之式』

- シテ 住吉明神 観世鏡之丞
- ワキ 阿蘇宮神主友成 福王和幸
- ワキツレ 従者 福王知登 喜多雅人
- 笛 藤田六郎兵衛
- 小鼓 大倉源次郎
- 大鼓 亀井広忠
- 太鼓 前川光範
- 後見 井上裕久 安藤貴康
- 地謡 片山九郎右衛門
浦田保浩 浦田保親
味方玄 大江信行
林宗一郎 梅田嘉宏
大江広祐



撮影：前島吉裕

【関連プレトーク】 5月24日 16時30分より 京都造形芸術大学内 ギャラリー・オーブ

『翁』とその起源について

ゲスト：天野文雄（大阪大学名誉教授、文化庁関西分室長）、松岡心平（東京大学大学院教授）
司会：渡邊守章

入場無料・要事前予約

お申込み：
京都芸術劇場チケットセンター
Tel.075-791-8240（平日10-17時）

5月24日（金）

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

イタリアの詩人・映画監督として知られるパゾリーニの戯曲を川村毅構成・演出により初翻訳・日本初演する企画の最終章。

P.P.Pasolini's Calderón『カルデロン』

4月27日（土）

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

パゾリーニの遺した戯曲集 全6作品日本初演、最終章

パゾリーニ戯曲連続上演企画は今回いよいよ最後を迎えます。ひとえに皆様方のご支援、激励のたまものと感謝いたします。

今回の公演をもって、ミラノのガルザンティ社より出版されているパゾリーニ全集の戯曲編に掲載されている六本すべての上演を行ったことになります。『オルジア』のリーディング公演に始まり、『豚小屋』、『騙り。』、『文体の獣』と経て、今回最終章『カルデロン』の上演と『ピュラデス』のリーディング公演に至りました。

パゾリーニ戯曲との旅は決して楽なものではありません。彼の書く戯曲はその映画と同様、既成のオーソドックスな手法から限りなく逸脱したもので、翻訳されてきた戯曲を一読後しばし呆然という事態もありました。しかし、それはアンチ・テアトルと名付けてしまうには、劇的とも呼べる生々しさと血まぐさを抱えているので、ここはポスト・ドラマ戯曲として読み、演出するのが正解なのではないかと思ひ至りました。そう考えが及びますと、まだ実現の日の目を見ていない私の脳内の演劇言語がこの戯曲において活用できると、演出家としての私が挑発され、鼓舞されることになりました。

おそらく、パゾリーニにとってまっとうな出来のいい、わかりやすい戯曲は彼が懐疑する資本主義であるに過ぎないということでしょう。しかし、戯曲はただただ難解なだけではなく、ある種の哀しみという叙情性が潜んでいます。私がパゾリーニに魅かれるのは、この哀しみのせいもあるのかも知れません。『カルデロン』はスペインの劇作家カルデロンの『人の世は夢』を、『ピュラデス』はオレステス、エレクトラらが登場人物のギリシャ悲劇をもとにして書かれています。

資本主義という名のファシズムとの闘いはそのまま人世の哀しみを超えようとする闘いへと、白いシャツにゆっくり血が滲んでいくかのように浸透していきます。その光景は苛烈な故に残酷な美を呼び起こします。 川村 毅

作／ピエル・パオロ・パゾリーニ 翻訳／田之倉稔 構成・演出／川村毅 衣装・美粧／宇野亜喜良

関連企画1【トーク】 2013年4月12日（金）16:00― 京都芸術劇場 studio21

「パゾリーニ 最終章を語る!!」

川村 毅（劇作家、演出家、京都造形芸術大学舞台芸術学教授）

ゲスト…

渡辺 えり（劇作家、演出家、女優）

参加費無料・事前申し込み お申込み：京都芸術劇場チケットセンター Tel.075-791-8240（平日10-17時）



川村毅

渡辺えり

関連企画2【映像上映会】 2013年4月13日（土） 京都芸術劇場 studio21

I. 12:00―

リーディング『オルジア』

（世田谷パブリックシアター主催 ドラマ・リーディング19、2003年2月シアターラム）

出演：手塚とおる、西傘田恵 ※定点カメラで撮影した映像です。

II. 14:00―

『豚小屋』（2011年4月 京都芸術劇場 春秋座舞台上）

出演：手塚とおる、河合杏南、笠木誠、福士恵二、大沼百合子、伊澤勉、終アリス、中村崇、伊藤キム

III. 16:00―

『騙り。』（2012年4月 京都芸術劇場 春秋座舞台上）

出演：手塚とおる、谷部央年（俳優座）、河合杏南、大沼百合子、笠木誠、中村崇、終アリス、真那胡敬二、蘭妖子

IV. 18:00―

『文体の獣』（2012年10月 テアトル BONBON）

出演：結城一条（江戸糸あやつり人形座）、千葉哲也、中村崇、葉山レイコ 他



撮影：石川純 写真提供：世田谷パブリックシアター

『騙り。』撮影：清水俊洋

『豚小屋』撮影：清水俊洋

『文体の獣』撮影：宮内勝

リーディング「ピュラデス」 2013年6月22日（土）・23日（日）予定 京都芸術劇場 studio21

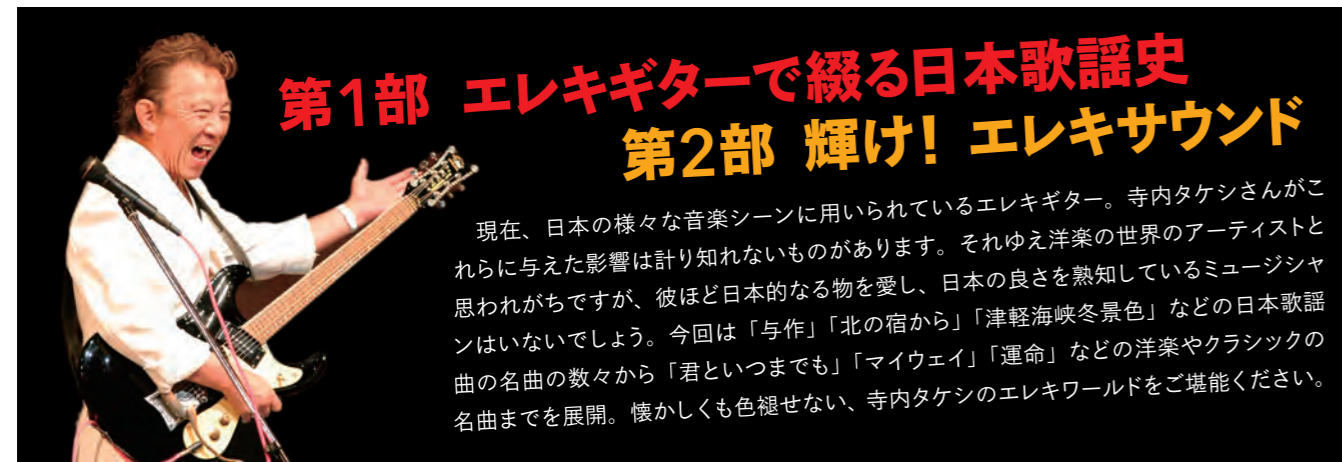
構成・演出：川村毅 翻訳：石川若枝 出演：東京・関西の俳優／京都造形芸術大学生 ※出演者オーディションを行います。

日本のポピュラー音楽に影響を与えた《エレキの神様》寺内タケシの超絶エレキワールドを!

寺内タケシとブルージーンズ・コンサート

4月20日(土)

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。



寺内タケシさんの凄さ

間もなく芸歴 70 年になる寺内タケシさんは、音楽が好きでギターを弾くようになったのではなく、エレキギターが好きだからミュージシャンになったという。正にエレキギター筋に生きてきた人である。ひと頃、エレキギターは不良少年の温床と言われ、全国の高校に「エレキギター使用禁止令」が発令されたことがある。寺内さんは、エレキギターを拒絶する高校に乗り込み、校長先生と談判した。校長先生は「エレキギターで弾くような音楽は教育上良くない」と言ったのである。そこで寺内さんは「じゃあ、先生が言う教育上いい音楽って何ですか?」と問い詰めると「それはクラシックなり、民謡でしょう」と言う答え。「そうか、よーし!」とばかりに出したのが、エレキギターで演奏する「日本民謡全集」であり、クラシックの数々である。その結果、「津軽じょんがら節」や「レッツゴー運命」といったヒット作が生まれた。これにより「エレキギター使用禁止令」は解かれ、エレキギターは市民権を獲得したのである。現在エレキギターを弾い

て活躍している人たちは寺内さんに感謝しなければならない。寺内さんがいなかったら、彼らの現在ではなかったかもしれないのだ。その後、寺内さんは「ハイスクール・コンサート」と題して全国の高校を回ることになる。その数は 1550 校超にも及び、とうとう文部科学省から感謝状をもらい表彰される身となった。不良少年を作ると非難されたエレキギターを持って、世間の評価を覆したのである。「エレキギターの神様」と言う言葉は、寺内さんの卓越したテクニックに送られたものだけではなく、こうした偉業に対して送られた賛辞なのだ。

70 年の歳月を費やして寺内さんが悟ったこと、それは「ギターは弾かなきゃ音が出ない」だと言う。「つべこべ理屈を言わないでまずやれ!」という寺内さんのメッセージは、単にエレキギターを弾く者だけに投げかけられたものではない凄さがある。

舞台芸術研究センター／プロデューサー
橋市郎

interview

今回のコンサートの一部のテーマは「日本歌謡史」。そこで、寺内さんに、このテーマについてお伺いしました。

「日本歌謡史」を1部の演奏のテーマにしておられますが、その理由は?

こんなサウンドアレンジでやりたかった。「日本」この国で生まれ育った人々の心の叫び、その時の想い出。こんな風景をのせて……幸せは「想い出の中に」を今、弾く。

エレキで日本の曲を演奏するときに、一番気をつけていること、大事にしていることは?

風景・情景

寺内さんにとって、「日本の心」とは?

外国の研究から日本が見える!日本から見た外国が日本を見る事になる。歴史を見て現在を知り、その時誇りある日本…僕はそれを音にする。



演奏曲目(予定)

第1部 エレキギターで綴る日本歌謡史

津軽じょんがら節
慕情
涙のギター、他

第2部 輝け! エレキサウンド

津軽海峡冬景色
名月赤城山
悲しき口笛、他

profile

寺内タケシ

5歳にしてギターを始め、電話のコイルを並べたピックアップでエレキギターを製作し、関東学院大学在学中にプロ活動開始。昭和 37 年寺内タケシとブルージーンズを結成しエレキブームの仕掛人となり、加山雄三主演の東宝映画「エレキの若大将」等にも出演したエレキギターの草分け的存在である。またヒット曲に「運命」「津軽じょんがら節」など多数があり世界中のエレキファンから「エレキの神様」として敬愛されている。近年はエレキ禁止令に端を発し、エレキの証明のためにはじめた「芸術鑑賞会・ハイスクールコンサート」が青少年教育の分野で評価を受け、文部大臣感謝状(H12)、文化庁長官表彰(H16)、衆参両院議長感謝状(H17)、厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財に指定され(H17)、平成 18 年 5 月には厚生労働省児童福祉文化賞(厚生労働大臣賞)を、平成 20 年秋の叙勲で長年のボランティア活動に対し緑綬褒章を受章した。なお同ハイスクールコンサートは 2013 年 2 月末現在で 1569 校を数えている。2011 年日本作曲家協会主催第 53 回日本レコード大賞の功労賞受賞。

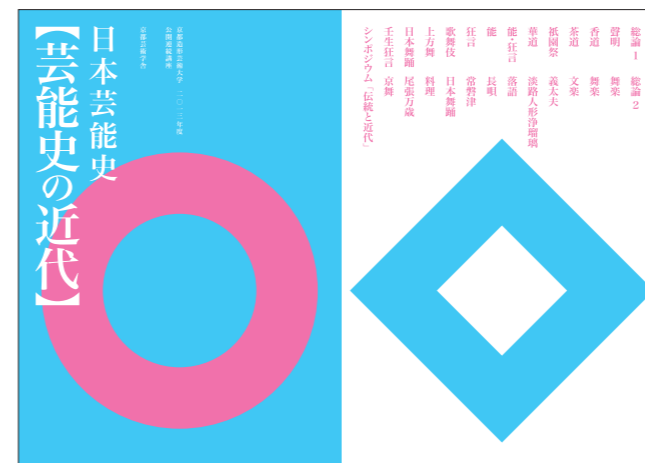
2013 年度 公開連続講座

日本芸能史「芸能史の近代」

芸能という視点を通して、日本の近代化の意味をさぐります。日本の歴史は、明治を境に大きな変化がありました。アジア社会の一員から世界の一員へと日本全体が舵を切り、それともなつて文化も芸能も変わりました。

日本の近代とは何であったのか。芸能にこそその変化の本質がもっとも明確に表現されています。グローバリズムの世界に生きる、現在・次世代の日本人の生き方のヒントを得ることもできるはずです。

企画・コーディネーター
田口章子(京都造形芸術大学教授)



尾張万歳 2009年春秋座「三つの芸能で楽しむ(お軽・勤平)」より 撮影:清水俊洋

会場: 京都芸術劇場 春秋座【人間館 NB 棟 1 階】

◎お問合せ・資料請求先

京都造形芸術大学 京都芸術学舎
旧・瓜生山エクステンションセンター(人間館NA棟中2階)
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116
Tel.075-791-9124 Fax.075-791-9021

受付/平日: 9時-17時(土曜: 16時まで)
休日/日曜日・祝日・入学試験実施日・年末・年始

[前期](全13回+シンポジウム) 2013年4月15日-7月22日
[後期](全13回) 2013年9月30日-2014年1月20日

毎月曜日 16:30-17:50 受講料 各期13,000円

前期

| | | |
|-----------|---------------|---|
| 1. 4月15日 | 総論1 芸能史の近代 | 諏訪春雄 |
| 2. 4月22日 | 聲明 | 実演: 天台宗総本山 比叡山延暦寺 法儀音律研究部 解説: 木戸敏郎 |
| 3. 5月6日 | 香道 | 実演: 三條西堯水 |
| 4. 5月13日 | 茶道 | 理論: 筒井紘一 |
| 5. 5月20日 | 祇園祭 | 理論: 吉田孝次郎 |
| 6. 5月27日 | 華道 | 実演: 池坊由紀 |
| 7. 6月3日 | 能・狂言 | 理論: 諏訪春雄 |
| 8. 6月10日 | 能 | 実演: 片山九郎右衛門 |
| 9. 6月17日 | 狂言 | 実演: 茂山良暢 |
| 10. 6月24日 | 歌舞伎 | 理論: 田口章子 |
| 11. 7月1日 | 上方舞 | 実演: 山村若 |
| 12. 7月8日 | 日本舞踊 | 実演: 坂東温子 |
| 13. 7月15日 | 壬生狂言 | 実演: 壬生大念仏講 |
| 14. 7月22日 | シンポジウム「伝統と近代」 | |

後期

| | | |
|------------|---------------|--------------------------|
| 1. 9月30日 | 総論2 芸能史の近代 | 諏訪春雄 |
| 2. 10月7日 | 舞楽 | 実演: 大阪楽所 解説: 木戸敏郎 |
| 3. 10月14日 | 舞楽 | 実演: 天王寺楽所雅亮会 解説: 木戸敏郎 |
| 4. 10月21日 | 文楽 | 理論: 諏訪春雄 |
| 5. 10月28日 | 義太夫 | 実演: 竹本源大夫 鶴澤藤蔵 |
| 6. 11月11日 | 淡路人形浄瑠璃 | 実演: 淡路人形座 |
| 7. 11月18日 | 落語 | 実演: 笑福亭松喬 |
| 8. 11月25日 | 長唄 | 実演: 今藤政太郎 |
| 9. 12月2日 | 常磐津 | 実演: 常磐津都衾蔵 常磐津都史 |
| 10. 12月9日 | 日本舞踊 | 理論: 古井戸秀夫 |
| 11. 12月16日 | 料理 | 理論: 棚橋俊夫 |
| 12. 1月6日 | 尾張万歳 | 実演: 北川幸太郎 |
| 13. 1月20日 | 京舞 | 実演: 井上八千代 |

鼓童 ワン・アース・ツアー 2013 ～伝説

5月18日(土)

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

「伝説」は新しい鼓童への始まり。

太鼓、笛、踊り— 鼓童と坂東玉三郎氏が紡ぐ 『伝説』の瞬間を、 どうぞお見逃しなく！

圧倒的な肉体と音楽性で和太鼓の世界を牽引する「鼓童」が春秋座にやってきます。2012年4月に歌舞伎俳優の坂東玉三郎氏を芸術監督に招聘。「鼓童ワン・アース・ツアー 2013～伝説」は、芸術監督就任の一作目の演出作品です。赤い提灯が下がり、木の舞台という独特な和の舞台空間の中、洗練された和太鼓の響きを体感しませんか。

「伝説」プログラムノート

第一部は、坂東玉三郎氏作曲による新曲『カデン』で幕を開けます。音群の中でソリストが自由自在に打ち込みながら、静けさと激しさを幻想的に交錯させながら展開していきます。

様々なイメージを投射するモノトーンの世界から転じて、第二部は躍動するエネルギーを放ちながら彩り豊かに華やかな舞台を繰り広げます。クライマックスでは、打つことのみによって鍛え上げた肉体を太鼓に投じ、魂の響きによってカタルシスへと導きます。



坂東玉三郎

芸術監督からのメッセージ

これまでの鼓童の重厚さに華やかさや軽やかさを加え、うねりながら流れていく舞台を創りました。一年間のツアーで練り上げ、演奏者の身体にも馴染んでまいりました。皆様にお楽しみ頂けるようにと願っています。

鼓童 プロフィール

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見だし、現代への再創造を試みる集団。新潟県佐渡島で始動し、1981年、ベルリン芸術祭でデビュー。太鼓芸能を現代的な舞台芸術へと昇華し、日本のみならず世界の芸術・音楽表現に強い影響を与える。異ジャンルの優れたアーティストとの共演、世界の主要な国際芸術祭、映画音楽等に多数参加。1年の1/3を海外、1/3を国内、1/3を本拠地・佐渡島で過ごし、多様な文化や生き方が響き合う「ワン・アース（一つの地球）」をテーマに、これまでに46ヶ国で3,600回を越える公演を行っている。



写真全て：Takashi Okamoto



京都造形芸術大学の卒業生の中にも現在「鼓童」のメンバーが三人います。今回は、その中のお一人、船橋裕一郎さんにお話を伺いました。

学生時代～和太鼓と鼓童との出会い

大学時代、和太鼓サークル恵に所属していたのですが入ったのはまだ部ができる前。ある授業で和太鼓のデモンストレーションをするのでメンバーを募集していると友達に誘われたんです。それまでは音楽もやったことなかったし、和太鼓なんてもちろん。それが和太鼓の音を聞いたとたん、電流が走ったんです。こんな楽器が、こんなに気持ちの良い物があるんだと。それまでは和太鼓や伝統芸能というものは興味もなかったし、自分の中になかったんです。でも、とにかく音を聞いた時に「すごいっ！」て。

それで、だんだんハマって、色々なお祭りを見たり、プロの舞台を観に行くようになり、鼓童の舞台を観に行くのですが、そこで第二の衝撃。初めて太鼓の音を聞いた時みたいに「なんじゃこりゃ！」って。自分たちがやっているのは何なんだろう。こういう世界があるんだ。その上、プロとしてお金をもらって生活している人がいるんだって。これもまた驚きで。

その時に観た鼓童は、とにかく単純に格好よかったですね。音は大きいし、きれいだし、叩いている姿は美しいし、曲は洗練されていたし。とにかく完璧なんじゃないか。この人たち間違えることはあるのかなって。そんな衝撃でした。とにかく「カッコイイ人たちがいるんだな」って。

それで鼓童について色々調べたら研修所というのがあった。共同生活をして朝4時50分に起きてランニングをして、畑を耕して、自分達で食事を作って、太鼓、歌、踊り、茶道や狂言をやったりして2年間修業するとある。基礎から学べて、しかもあの舞台に立てるって。夢のような世界があるなあって。それで試験を受けて、佐渡に渡りました。

芸術監督・坂東玉三郎氏と「伝説」

「伝説」という舞台は、鼓童が結成30周年を迎える節目の年に、次への挑戦になる舞台を作ろうと、歌舞伎俳優の坂東玉三郎さんに芸術監督と演出をお願いした、その第一弾です。この30年の中で鼓童として培ってきたものもありますが、逆に固まってしまったものもある。その殻を破って次に進むきっかけを作っていただいた感じがします。

というのも舞台芸術としての和太鼓の歴史は決して古いものではないのですが、鼓童や和太鼓の舞台は「こういうものだ」「こうしてはいけない」と自分達で思い込んでやっている部分があったんですね。それを改めて玉三郎さんに「何でダメなの？」「こうしたらいいんじゃないの？」と言われると、「あれ？何でダメなんだろう」ってもう一度、考えるんですよ。でも、やっぱり稽古の時に「これは…」って思ったりもする。ですが、それが作品として舞台上に現れると「こういう効果があったのか！」と思えるんです。それは舞台を上からしっかり観ていらっしゃるというか、玉三郎さんが俯瞰している位置が僕らより高いからなんですね。

芸能というのは、常に新しいものを取り込んでいかないと流れていけない。生きていかないと考えているんです。そういうことでも今回、玉三郎さんによって一気に血の流れを良くしていただいた気がしています。

玉三郎さんと鼓童は13年前からのお付き合いなのですが、その時から舞台に対する取り組み方や公演後の食事、コンディション調整、日々の過ごし方などを身を持って教えていただきました。毎日、同じクオリティを目指してやる以上は、そこまで気を使わないといけませんからね。そういった様々な事が今回の「伝説」という舞台に反映されていると思いますし、自分たちとしても「伝説」になる舞台だと思っています。もちろん昔から来ていただいているお客様から賛否両論あったのは確かです。でも、自分達が作る賛否両論の「否」には踏み込めないし、新しいことにチャレンジしにくい。そこに今回踏み込むことができたと思います。

今回、私は残念ながら別の舞台に出演するため春秋座公演には出られないのですが、グループには、その音というのがあって、鼓童には鼓童の音やリズム、表現があるんです。それは打ち手全員に共通して流れているものなのなんですね。今の鼓童の音は自分の音でもありますから。自分が出ていなくても、その音を春秋座に届けられるのは、とても嬉しいことですし、魂は伝わっていると思います。ぜひ、鼓童の音を春秋座で体感してください。



*和太鼓 恵…京都造形芸術大学・京都芸術デザイン専門学校の学生により構成される和太鼓サークル。学内行事や京都市内のイベントなどで演奏を行っている。

劇場HPの鼓童公演特設サイトにロングバージョンを掲載します。

船橋 裕一郎

神奈川県出身。京都造形芸術大学の学生時代に太鼓に出会う。1998年に研修所入所。2001年よりメンバーとして舞台に参加。太鼓、鳴り物、唄などを担当。数多くの演目を表情豊かに表現。国際芸術祭「アース・セレブレーション」では2年連続で城山コンサート舞台演出を手がける。2012年4月より鼓童の副代表に就任し、舞台を牽引する。

4

april 2013

□ コント/学生公演

3日(水) 19:00 4日(木) 14:00/19:00 ◆studio 21
5日(金) 14:00

スーパーコントユニット Massachusetts Live:1

Nippon no hito

【予約優先】500円 ●お問合せ: 090-1319-9405 (制作: 長谷)

□ トーク/主催

12日(金) 16:00 ◆studio 21

P.P.Pasolini's Calderón 関連企画① ●特集▶P.3
トーク「パゾリーニ 最終章を語る!!」

【参加費無料・事前申し込み】

●お問合せ: 京都芸術劇場チケットセンター、劇場HPより

□ 映像/主催

13日(土) 12:00 ◆studio 21

P.P.Pasolini's Calderón 関連企画② ●特集▶P.3
映像上映会

【参加費無料・事前申し込み】

●お問合せ: 京都芸術劇場チケットセンター、劇場HPより

□ 講演・レクチャー

15日(月) 16:30 公開連続講座① ◆春秋座

日本芸能史「芸能史の近代」 総論: 諏訪春雄

□ 音楽/主催公演

20日(土) 15:00 ◆春秋座

寺内タケシとブルーローズ・コンサート ●特集▶P.4

【発売中・全席指定】

一般 5000円 友の会 4000円
シニア 4500円 学生&ユース 2000円 (200席限定)

T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協

□ 講演・レクチャー

22日(月) 16:30 公開連続講座② ◆春秋座

日本芸能史「聲明」

実演: 天台宗総本山比叡山延暦寺法儀音律研究部
(解説: 木戸敏郎)

□ 演劇/主催公演

27日(土) 14:00/18:00 ◆春秋座 舞台上

P.P.Pasolini's Calderón ●特集▶P.3
カルデロン

【発売中・整理番号付自由席】 ※当日券は全て500円増し

一般 4000円 友の会 3200円 シニア 3600円
学生&ユース 2500円 瓜生山学園生 1500円

T-C OTS ぴあ e+ 生協

5

may 2013

□ 講演・レクチャー

6日(月・祝) 16:30 公開連続講座③ ◆春秋座

日本芸能史「香道」 実演: 三條西堯水

□ 講演・レクチャー

13日(月) 16:30 公開連続講座④ ◆春秋座

日本芸能史「茶道」 理論: 筒井紘一

□ 和太鼓/主催公演

18日(土) 18:00 ◆春秋座

鼓童 ワン・アース・ツアー 2013 ~ 伝説 ●特集▶P.6-7

【発売中・全席指定】

一般 5500円 友の会 4500円
シニア 5000円 学生&ユース 2000円 (200席限定)

T-C OTS ぴあ e+ KBS 新聞 生協

□ 講演・レクチャー

20日(月) 16:30 公開連続講座⑤ ◆春秋座

日本芸能史「祇園祭」 理論: 吉田孝次郎

□ 伝統芸能/主催公演

24日(金) 18:30 ◆春秋座

世阿弥生誕六五〇周年記念 ●特集▶P.1-2

観世流宗家観世清和師による『翁』

【発売中・全席指定】

S席 一般 8000円 シニア 7500円 友の会 7000円
A席 一般 7000円 シニア 6500円 友の会 6000円

学生&ユース席 2500円

T-C OTS ぴあ e+ 生協

□ 講演・レクチャー

27日(月) 16:30 公開連続講座⑥ ◆春秋座

日本芸能史「華道」 実演: 池坊由紀

6

june 2013

□ 講演・レクチャー

3日(月) 16:30 公開連続講座⑦ ◆春秋座

日本芸能史「能・狂言」 理論: 諏訪春雄

□ 講演・レクチャー

10日(月) 16:30 公開連続講座⑧ ◆春秋座

日本芸能史「能」 実演: 片山九郎右衛門

□ 講演・レクチャー

17日(月) 16:30 公開連続講座⑨ ◆春秋座

日本芸能史「狂言」 実演: 茂山良暢

□ 講演・レクチャー

24日(月) 16:30 公開連続講座⑩ ◆春秋座

日本芸能史「歌舞伎」 理論: 田口章子

□ 演劇/主催公演

22日(土)、23日(日) 予定 ◆studio 21

P.P.Pasolini's ●特集▶P.3

「ピュラデス」リーディング

構成・演出: 川村毅

出演: 東京・関西の俳優、京都造形芸術大学学生

【料金未定】

T-C 京都芸術劇場チケットセンター

OTS 劇場オンラインチケットストア

ぴあ チケットぴあ—http://t.pia.co.jp TEL.0570-02-9999

e+ イープラス—http://eplus.jp

新聞 京都新聞文化センター(京都新聞社1F)—TEL.075-256-0007(10-17時 ※土・日・祝除く)

生協 京都、滋賀各大学生協プレイガイド

KBS KBS京都事業部—TEL.075-431-8300(10-17時 ※土・日・祝除く)

*記載のないものについての開場は開演30分前 *特に標記のない場合、前売と当日は同じ料金 *ユースは25歳以下、シニアは60歳以上対象(一部公演を除く)

*学生・ユース・シニアは身分証明書提示

●特集▶P.5

7月のスケジュール予定

July 2013

※内容等、変更になる場合がございます。

□ 講演・レクチャー

1日(月) 16:30 公開連続講座①
日本芸能史「上方舞」

◆春秋座
実演：山村若

□ オペラ/主催公演

6日(土) 17:00 7日(日) 14:00

◆春秋座

G.ブッチェーニ作曲

歌劇『蝶々夫人』全2幕

日本を舞台にしたブッチェーニの名作オペラ『蝶々夫人』を歌舞伎劇場 春秋座で華やかに上演!

公演監督：松山郁雄

指揮：牧村邦彦

演出：井原広樹

出演：川越塔子(6日)、
江口二美(7日)、他



【4月9日(火)友の会先行発売、4月10日(水)一般発売・全席指定】

S席 一般 9500円 シニア 9000円 友の会 8500円
A席 一般 7500円 シニア 7000円 友の会 6500円
学生&ユース席 2500円

T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協

□ 講演・レクチャー

8日(月) 16:30 公開連続講座②
日本芸能史「日本舞踊」

◆春秋座
実演：坂東温子

□ 伝統芸能/主催公演

12日(金) 18:30

◆春秋座

東西狂言 華の競演

演目——

『止動方角』 茂山千五郎・茂山七五三、他

『奈須与市話』 野村万作(人間国宝)

『髭櫓』 野村萬斎・茂山逸平、他



『髭櫓』撮影：志賀智

【4月16日(火)友の会先行発売、17日(水)一般発売】

S席 一般 6000円 シニア 5500円 友の会 5000円
A席 一般 5000円 シニア 4500円 友の会 4000円
学生&ユース席 2500円

T-C OTS ぴあ e+ 生協

□ 講演・レクチャー

15日(月) 16:30 公開連続講座③
日本芸能史「壬生狂言」

◆春秋座
実演：壬生大念仏講

□ 講演・レクチャー

22日(月) 16:30 日本芸能史シンポジウム
「伝統と現代」

◆春秋座

2013年度 公開連続講座 日本芸能史「芸能史の近代」

[前期] (全13回+シンポジウム) 2013年4月15日—7月22日
[後期] (全13回) 2013年9月30日—2014年1月20日

毎月曜日 16:30-17:50 受講料 各期13,000円

会場：京都芸術劇場 春秋座【人間館 NB 棟 1階】

◎お問合せ・資料請求先

京都造形芸術大学 京都芸術学舎

旧・瓜生山エクステンションセンター(人間館 NA 棟中2階)

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

Tel.075-791-9124 Fax.075-791-9021

受付/平日：9時—17時(土曜：16時まで)

休日/日曜日・祝日・入学試験実施日・年末・年始

速報!! 急遽決定

□ 朗読劇/提携公演

5月3日(金・祝) 18:00

◆春秋座

Team申 番外公演Ⅲ
「今、僕らが出来ること」
朗読劇
お文の影
野槌の墓
出演——
佐々木蔵之介
市川猿之助
佐藤隆太



佐藤隆太



市川猿之助



佐々木蔵之介

【4月5日(金)友の会先行発売、4月7日(日)一般発売・全席指定】

※京都芸術劇場チケットセンター窓口・電話の日曜営業は4月7日のみ

一般 5000円 友の会 4500円 学生席 3500円(座席範囲指定)

※学生席は京都芸術劇場チケットセンターのみ取り扱い

T-C OTS ぴあ e+ L-T CN 阪神プレイガイド(窓口のみ)

グループ鑑賞のご案内

10名以上の団体での鑑賞をご希望される場合は、お気軽にお問い合わせください。お座席・料金などのご相談に応じさせていただきます。

◎お問合せ：京都芸術劇場チケットセンター Tel.075-791-8240

T-C 京都芸術劇場チケットセンター

OTS 劇場オンラインチケットストア

ぴあ チケットぴあ—http://t.pia.co.jp TEL.0570-02-9999

L-T ローソンチケット

e+ イープラス—http://eplus.jp

CN CNプレイガイド

新聞 京都新聞文化センター(京都新聞社1F)—TEL.075-256-0007(10-17時 ※土・日・祝除く)

生協 京都、滋賀各大学生協プレイガイド

KBS KBS京都事業部—TEL.075-431-8300(10-17時 ※土・日・祝除く)

*記載のないものについての開場は開演30分前 *特に標記のない場合、前売と当日は同じ料金 *ユースは25歳以下、シニアは60歳以上対象(一部公演を除く)

*学生・ユース・シニアは身分証明書提示